



□ 烏頭坂と熊野神社

川越街道を岸町から富士見町へ向かって上る烏頭坂は、新河岸川の舟運が盛んな頃は、新河岸で荷揚げされた荷物を市内の間屋街に運ぶときに必ず通った急坂で難所でもあった。昔は道の両側に杉並木があり、風情のあったところといわれる。坂を上りきる途中に地域の産土（うぶすな）神である熊野神社があり、斜面の緑と境内の桜は交通量の多い国道の交差点付近で一服の清涼剤となっている。

